

番組審議会議事録

開催年月日：平成 25 年 7 月 31 日(水) 15 時 00 分～16 時 00 分

開催場所：木更津社会福祉協議会 第 1 会議室

委員の出席 委員総数 7 名

出席委員数 5 名

出席者の氏名： 藤波陽四郎（委員長）、早川令子（副委員長）、渡辺知尚、
鈴木登、村重正明

欠席委員の氏名： 前沢幸雄、高山栄作

放送事業者側出席者： 石村比呂美、池田和隆、兼平健一

1. 議 題

・「袖ヶ浦ミュージアム」 2013 年 7 月 24 日（水）放送について

（高山 委員） ※当日欠席のため、事前に FAX でお送りいただいた意見書をご紹介します

- ・硬い話題を、聞きやすく、リスナーが興味をそそるように扱っていて良かったと思いました。
- ・事前に話の順番がよく整理され、司会者の問いかけに答える形で進行しているので、硬い話になりそうな話題でありながら、講義調にならず、楽しく聴きやすかったです。
- ・司会者が時折感想をはさむことで縄文人の生活が想像できるなど、リスナーに興味をもたせる作りになっていた、と感じました。（漁の方法が現在も変わらない、縄文人の賢さを感じる、色々美味しいものを食べていた）
- ・番組の途中でリクエスト曲をかけていたが、番組の流れを止めている印象があった。できれば、番組の最後に曲をかけるような番組構成にした方がよいのでは。
- ・BGM をもう少し小さくするか、もしくは BGM がなくてもよいかなと感じました。

(村重 委員)

- ・難しい内容の話題を分かりやすく話そうとしている姿勢を感じました。
- ・古墳や縄文人の生活等、好きな人にとっては興味を持つ内容かもしれませんが、自分の場合は、内容がしっくりと入ってきませんでした。
- ・番組途中で曲がかかったことで、番組の流れが途切れてしまった感じがしました。

(早川 副委員長)

- ・「袖ヶ浦ミュージアム」というタイトルであったので、まじめで硬い内容の番組なのは、と身構えながら聴き始めたが、質問が具体的で、まるで自分が質問をしているような感じがして、思っていたよりも分かりやすかったです。
- ・番組冒頭で前回の内容を振り返っていたのは、聴き逃しているリスナーに興味を持たせるという意味で良かったです。
- ・私自身、古墳等について特別に関心を持っていないのですが、番組を聴き終って、色々なことが学べたな、と思いました。
- ・番組途中で曲がかかったことで、番組の流れが途切れてしまった感じがしたが、取り扱っている話題が固いので、レクチャーの休憩という意味合いでは良かったとも思いました。

(渡辺 委員)

- ・貝塚が発見された場所、経緯など詳細が分かり、歴史について勉強できる内容でした。
- ・話が聴きとりやすいテンポでした。
- ・番組内で紹介した古墳が私有地にあるため、実際に見ることができないというのは、聴いていて残念に思いました。
- ・どのようなリスナーに向けてテーマを設定し、番組を進行していくのか、番組の冒頭や最後に説明するといったのではないのでしょうか。

(鈴木 委員)

- ・博物館の展示品や資料を映像で示すことができず、音声だけで説明しなければならないという難しさはあったと思いますが、袖ヶ浦市郷土博物館の館長さんが物腰柔らかく、落ち着いた口調で説明をされていて、分かりやすかった。
- ・住居の広さについての話について、説明表現が不足していた。
- ・何度か繰り返して聴かないと、印象に残らないような感じがした。

(藤波 委員長)

- ・聞き上手と話し上手の2人が、リズム良く番組を進めていて、とても良い印象がしました。
- ・知識欲を満たすような内容になっていて、素晴らしい番組だと思います。今後も放送を続けてもらいたい番組です。
- ・番組の間にタイミング良く曲を挟んでいるなと思いました。1つの話題をずっと引っ張ってきて、もう少し聴きたいなと思うところでCMを入れたり曲をかけたりして、気分を一度リフレッシュさせ、再度話題の続きを話すというのは、番組制作側としては興味を持たせるために必要な手段だと思います。

(放送事業者 石村)

- ・地域の放送局では扱わないけれども、地元の方々に知ってもらいたい話題を紹介していく形で今後も地道に続けていきたい、と考えております。

以上